

が2つの医療機関から処方されている結果となりました。3医療機関からの処方割合は2.391%、4医療機関以上からの処方割合も0.7938%と、一定数の重複処方があることが確認されました。

図4-2-1は重複投薬割合を年齢階級別・性別で比較しています。いずれの年齢階級別で女性の方の重複投与数が多い結果となりました。また、後期高齢者においても重複投与が行われている実態が明らかになりました。さらに医療機関数別の重複投与患者数を年齢階級別・性別で比較した結果、4医療機関以上から重複投与が行われている結果が見られました。

重複処方割合は全国の自治体でも調査が行なわれていますが、「重複処方」の統一定義はありません。たとえば、さいたま市は「同一月に、同一成分の内服薬が14日以上処方されている。」、福岡市は「複数の医療機関から同一成分の薬が処方されている。」と定義されています。

本分析は常用している薬剤を対象とするために、「複数の医療機関から同一成分の内服薬」に加え、処方日数の条件付けも加えました。千葉県における分析目的を明確にし、全国平均や他都道府県と比較できる評価指標の検討が必要であることが示唆されました。

# 4. 重複分析

4 特定健診レセプトデータ等  
分析結果の見かたについて

千葉市

東葛南部

東葛北部

印旛

香取海浜

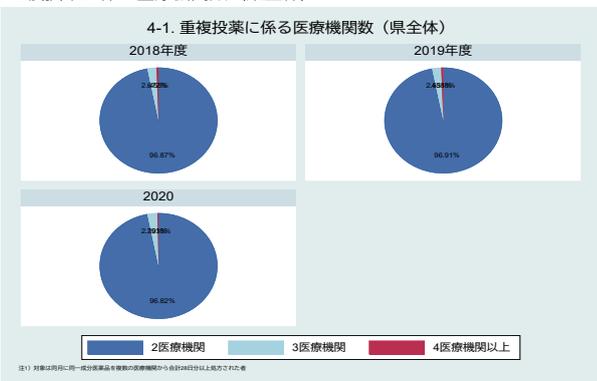
山武長生美隅

安房

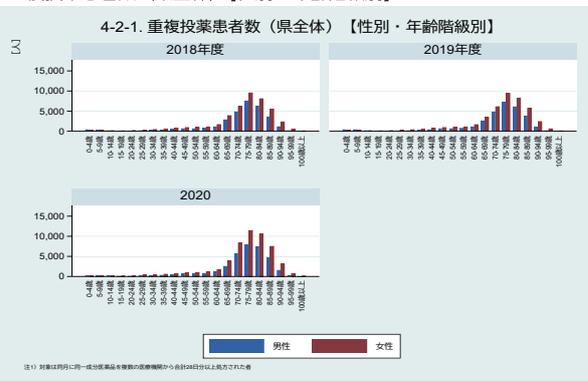
君津

市原市

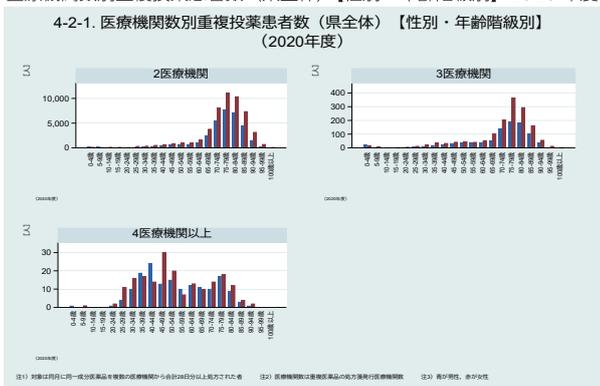
## 重複投薬に係る医療機関数（県全体）



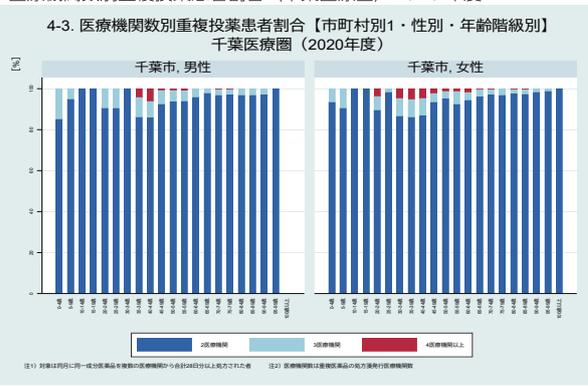
## 重複投薬患者数（県全体）【性別・年齢階級別】



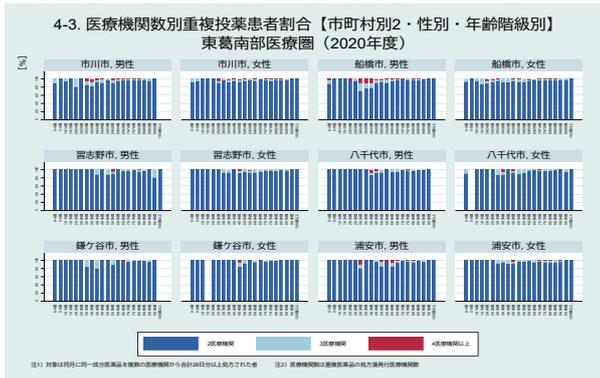
## 医療機関数別重複投薬患者数（県全体）【性別・年齢階級別】 2020年度



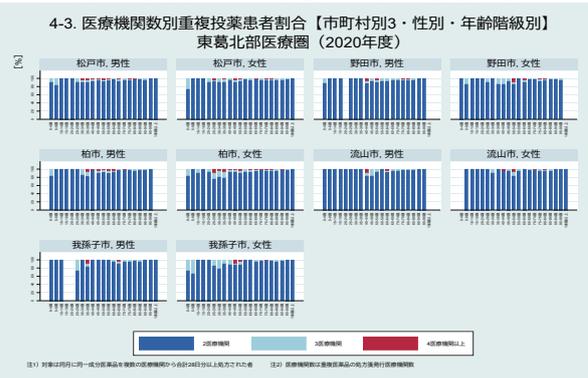
## 医療機関数別重複投薬患者割合（千葉医療圏） 2020年度



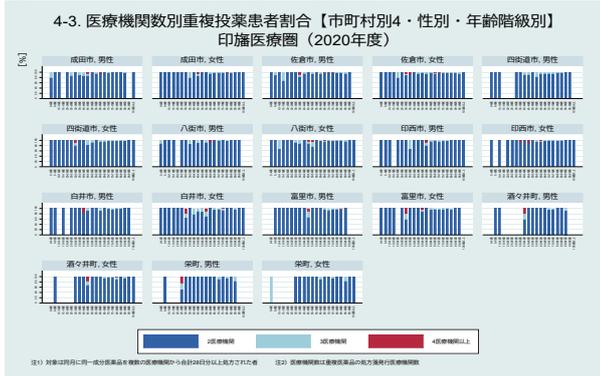
## 医療機関数別重複投薬患者割合（東葛南部医療圏） 2020年度



## 医療機関数別重複投薬患者割合（東葛北部医療圏） 2020年度



## 医療機関数別重複投薬患者割合（印旛医療圏） 2020年度



## 医療機関数別重複投薬患者割合（香取海浜医療圏） 2020年度

